

月刊 永藤タイムズ

熊本地震への大阪府の対応と、
私たちにできること・すべきこと

大阪府議会議員
ながふじ ひでき
永藤英機です。

4 月14日に熊本県熊本地方で発生した震度7の地震以降、熊本・大分の両県を中心にして九州の広い範囲で活発な地震活動が続いています。5月5日時点で震度1以上を観測した地震は1200回を越え、一連の地震で亡くなられた方は49人、関連死と思われる方も18人の上っています。また、熊本・大分両県では公共施設などを含めて建物の損壊が5万棟を超えています。

大阪府では大震災発生直後の4月14日に「(大阪府災害等)支援対策室」を、4月18日には「(大阪府災害等)支援指令部」を設置して、被災地への支援を継続しています。加えて、関西広域連合の一員としても、大阪府は被災地の要請に迅速に対応しています。そこで今月号の永藤タイムズではその状況についてお伝えします。

熊本地震と大阪

1 大阪府の支援状況
(5月5日時点)

■被災地への職員派遣

府職員4人 延べ294人日※

関係機関(自衛隊)10人 延べ472人日

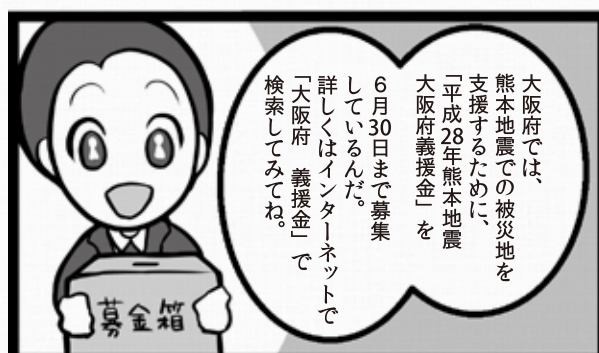
警察・消防0人 延べ3948人日

※これまでに派遣された府職員は4月を中心に、主に市町村の行政支援や健康医療分野に携わりました。また5月5日時点で派遣されている4人は、被災者の健康相談や健康チェック、避難所での衛生対応指導などを実施しています。

■被災者の受入れ支援

大阪府営住宅への入居者…2件※
介護施設等での受入れ…1人

※大阪府では熊本地震で被災された方の府営住宅300戸への受入れを行っています。また、大阪府立の高等学校への転入学の相談を受け付けています。(入学検定料および入学科は特別免除)



2 関西広域連合での対応

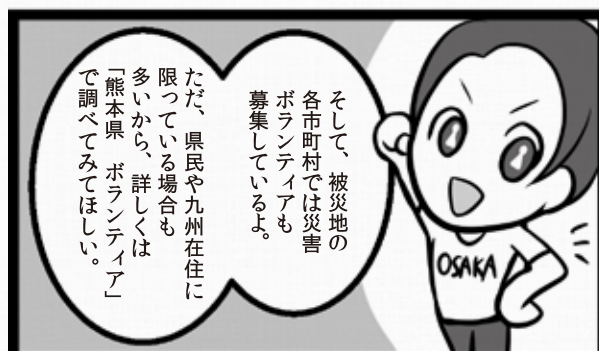
■現地連絡所の設置

大津町(熊本県菊池郡)現地連絡所を4月21日に設置、大阪府が担当団体として対応。物資基地の運営支援、避難所の運営支援を行っています。

■支援チーム派遣

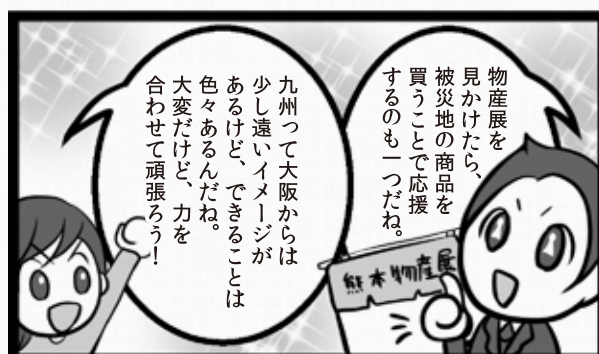
4月27日～5月4日に兵庫県を統括として、関西広域連合を構成する府県で分担して専門職員を派遣。教育支援、ボランティアコーディネート、がれき処理など環境対策、仮設住宅支援などを行っています。

大阪から支援します!



大阪府議会からも…

大阪府議会では、議員それぞれが私費で1万円ずつ出し合い、合計で100万円を災害見舞金として熊本県に贈りました(4月28日に大阪市内にある熊本県大阪事務所を訪れ、大阪府議会の議長・副議長から事務所に長に目録を手渡ししています)。このお金は震災からの復興復旧に要する財源の一部として使っていただいたいと思います。府議会としても今後も被災地に対するサポートが円滑に進むよう努めていきます。



大地震の発生から1ヵ月が経過しようとする現在でも、多くの方々が避難所で過ごすなど不慣れた生活を強いられています。大阪府として引き続き、被災者の方々や被災自治体に対して迅速かつ適切な支援ができるように働きかけていきたいと考えています。

4月から大阪府でも新年度が始まっています。2月議会で可決された平成28年度予算には「災害に強いまちづくり」として防災・減災に対応するための支出が多く含まれています。以下に一例を紹介いたします。

①大規模地震・津波対策

・南海トラフ巨大地震による液状化で沈下する恐れのある防潮堤などについて、浸水被害が想定される区間で地盤改良工事を行う。
(緊急性の高い箇所から実施)
・消防団の安全確保装備の整備や、自主防災組織による要支援者のための資材整備を支援する市町村に補助

②密集住宅市街地への地震対策

・防災性の向上や住環境の改善のため、老朽住宅の除却や立て替え、道路・公園などの公共施設の整備を行う市に対して補助

③建築物の耐震化の推進

・大規模災害発生時に緊急路線が建物倒壊で閉鎖されないよう、沿道の建築物の耐震化を促進
・木造住宅の耐震化を促進
・府立高校の耐震性能向上、体育館の天井照明などの耐震化対策
・私立学校施設の耐震化を支援(平成25年度からの集中取組期間を延長)

●出前府政報告会、行います！●



3名様以上お集まりの場にお伺いして、府政の現状について直接お伝えします。右下に記載の電話、FAX、メールなどでご相談ください。(会費無料)

月刊永藤タイムズバックナンバー・Twitter 案内

月刊永藤タイムズのバックナンバーをホームページにて公開しています。

<http://www.nagafujihideki.com>

ながふじひでき

検索

毎月発行しています



twitter アカウント

@nagafujihideki

〔永藤英機 プロフィール〕

昭和51年7月13日生まれ(39歳)。
大阪府立大学経済学部を卒業後、S Eとしてコンピュータ会社勤務、その後ファイナンシャルプランナーとして株式会社を設立。2008年2月に橋下知事が誕生し、「今なら大阪が本当に変わるかもしれない」と共に大阪府政改革に取り組むことを決意。2015年4月、大阪府議会議員に二期目の当選。(堺市堺区選出)
大阪維新の会大阪府議団・副政調会長



今月号では熊本地震への支援状況と大阪府の防災対応について特集しました。熊本県での2度の震度7の大地震は、4月14日が夜9時、16日が深夜1時と、どちらも夜遅くに発生しました。地震はいつ発生するか分かりません。大阪府が発表している南海トラフ巨大地震の被害想定に拠ると、マグニチュード9.1規模の南海トラフ地震が冬の午後6時に発生した場合、大阪府内の死者は最大で13万人以上と極めて深刻なものになっています。この内訳は建物の倒壊による死者が735人、火災による死者が176人、津波による死者が13万2967人です。そして地震発生後すぐに避難を行った場合、津波による死者はゼロになるとされています。この被害想定では、私たちが暮らす堺区は和泉川より南で最も多い3627人の死者が想定されています(全て津波によるもの)。普段から心構えをしており、万が一の大地震の際にはその発生時間に関わらず迅速に対応できることが大切です。熊本地震で被災された方々の一日も早い回復、日常生活への復帰を切に願いながら、私たちもいつ起こるとも分からない大災害に備えたいものです。



校区防災訓練での挨拶

■府政に関する相談やお問い合わせは
大阪維新の会 大阪府議会議員

永藤英機事務所 まで!

〒590-0971 堺市堺区栄橋町1丁7-3 栄橋ビル4階

TEL (072)228-3331 WEB: <http://nagafujihideki.com/>

FAX: (072)344-5676 MAIL: info@nagafujihideki.com



ご意見、ご感想をお寄せ下さい!

